

川崎地域連合 議員団会議 第18回総会を開催 地域連合と議員の建設的な意見交換の場とする！

川崎地域連合は7月17日(月)におだわら市民交流センター(UMECO)において、「議員懇談会」を開催しました。議員団メンバー19名、地域連合23名が参加しました。



第18回総会、冒頭、雨笠会長(麻生区市議会議員)から「第20回統一地方選挙では、大変お世話になった。市議のみらい会派は10人から14人となり第2会派に戻れた。議員団として、これからも地域連合と連携していきたい」と挨拶されました。



雨笠会長

渡部顧問

渡部顧問(地域連合議長)は「第20回統一地方選挙は、川崎地域連合が推薦・支持をした候補者は15勝1敗という結果になった。組織内・外100%当選を目指して力を結集したが、一歩及ばなかった。今秋にあるかもしれない第50回衆議院選挙に向けて、推薦候補者をしっかり支援していきたい」と挨拶しました。

その後、活動報告・会計報告・監査報告、運動方針・予算計画および役員改選を行い、満場一致で可決されました。

第16回セミナーは、テーマを「川崎市市制100周年の取り組みについて」と題して、川崎市総務企画局シティプロモーション推進室市制100周年記念事業小池部長より講演いただきました。



政策制度懇談会ならびに交通政策懇談会

議員懇談会同日の14時から、『政策・制度懇談会ならびに交通政策懇談会』を開催しました。政策・制度懇談会は今回初めて開催し、特に議員と連携を深めていく内容について意見を交わしました。また、交通政策懇談会は『神奈川県警に対する要求と提言』の精査をするもので、県議会議員4名、市議会議員8名、地域連合12名が参加しました。

